

A I 時代を生き残る 会計事務所における知財戦略



会計業界におけるクラウド、フィンテック、
および A I の動向と知財戦略

2019年8月27日 長友国際法律事務所

(C)Nagatomo International Law Firm

セミナー概要

第1部 世の中のクラウド化の進展とクラウド型会計システムの状況

1. クラウド全般の状況
2. クラウド型会計システムの状況
3. クラウド化を促進する動き
 - ①IBM 会計データ・オン・クラウドプラットフォーム
 - ②電子政府構想（企業が行う従業員の社会保険・税手続きのオンライン・ワンストップ化）

第2部. 土業や会計業界とA I

1. A I (Artificial Intelligence)とは
2. A Iのインパクト（A Iでなくなる仕事・残る仕事のウソ・ホント）
3. A I化が可能なタスクはどこか（タスクベースの分析）

第3部. 会計システム提供事業者の知財戦略（マネーフォワードとfreeeを中心に）

1. マネーフォワードとfreeeの特許訴訟が知財の世界を変えた
2. マネーフォワード社とfreee社の知財戦略
3. 会計業界のA I特許の動向（ファーストアカウンティング、O B Cなど）

第4部. A I、I O T、R P A関連システムを開発する場面の知財・法律問題、及び社内の体制

1. A I、I O T、R P A開発段階の法律問題（どこをどうまもればよい？）
2. このままではG A F Aや大手I T企業に飲み込まれる？
3. A Iシステムのどこを特許で守れるか
4. 社内、所内の体制をどうすれば？

第5部. バックオフィスシステム開発時の知財戦略

1. コモデティ化対策の布石としての知財戦略
2. 特許出願状況から予測されるコモデティ化の時期と対策
3. 知財戦略の小括